

町長所信

(要約)

今年8月末までに、全国で土砂災害の発生件数は889件、78名の方が死亡し、1名の方が未だに行方不明となっています。近い将来、南海地震などによる津波災害が予想されていますが、牟岐町では土砂災害についても、もともともと真剣に議論し対策を進めて

行かなければならない時期にきていると痛切に感じています。

さて、平成23年4月の私の町長就任以来、防災と活性化について、私なりに全力で取り組んできたつもりでございますが、公的施設では、まだ役場の耐震化・津波対策が大きな課題として残っていますし、民間施設の耐震化もほとんど進んでいません。

また、活性化については、平成25年に牟岐町再生会議を開催し、できるだけ多く



牟岐町防災キャンプ開会式

の方から再生に向けたご意見をいただく中で、行動を開始したいと考えていますが、大きなうねりとはなりません。ただ、これまでにも概略をご説明いたしましたように、活性化に向けての方針は明らかに出来たと私は考えています。

①エコノミックガーデンの取組。
 ②『保養と健康の町』牟岐町としての全町挙げた取り組み。
 ③牟岐町全域の公園化・美化。
 ④空家・空き店舗対策。
 ⑤農林水産業の再生が、その主たるものでございますが、具体の取組といたしましては、9月1日より、稼働しています河内の牟岐町活性化センターにおいて、地域おこし協力隊を中心にこれらの活性化策を実行に移して頂きたいと考えています。

今後、少子高齢化、過疎化が急速に進行していく中で、頑張る市町村とそうでない市町村の差は、ますます拡大していくことが予想

されます。牟岐町が、日本にとつて、また徳島県にとつて必要な町でありつづけるためには、地形的な特性、景観的な特性だけでなく、多くの人が関われる産業を残す必要があると考えています。一次産業、二次産業、三次産業、どの産業でも良いのですが、多くの皆さん

の生活に不可欠な物、あるいはサービスを提供する必要があります。牟岐町という町が、いずれ消滅する町ではなく、これからもずっと日本地図に残るよう、全力をあげて現在の取り組みを進めていきたいと思えます。議員各位のご協力をよろしく願います。

9月定例議会の

議案の内容と審議

定例議会が9月17日から19日まで開かれました。開会日には福井町長が、健全化判断比率等の報告、決算認定、条例制定案、補正予算案などを提案説明し、議員から意見書案2件の趣旨説明を行いました。

再開日には4名の議員が一般質問に立ち、認知症ケア向上と対策、地域包括ケアシステムの充実、り災者支援対策の強化、河内活性化センターの取り組みなどについて論議されました。

そして、25年度各会計決算認定7件を常任委員会に付託し、町長提出の報告2件を承認、条例制定など議案7件と議員提出の意見書1件が可決されました。

専決

◎26年度一般会計補正予算
 海岸等への漂着物除去費
 280千円を補正するもの。
 (原案承認)